

I 乳幼児の外遊びに関する調査結果からみえるもの

NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee理事 岩丸明江

現在、北九州市は「日本一子育てしやすい町」を目指して、各種の子育て支援施策を実施しており、「地域における子育て環境の醸成」はひとつの柱となっている。平成20年度には、八幡東区での「親子ふれあいルーム」の整備がはじまり、順次各区に開設される予定である。

当NPOは、平成19年度に「親子ふれあいルーム」のような「子育てひろば」について、どのような機能をのぞむか、1778名の市民にアンケートを実施したところ、「必ずスタッフがいる」「友だちができる」「相談できる」「子育て情報がある」「子どもに配慮された環境整備である」の5点は属性を問わず上位をしめた。その中で、子育て中の親が、支援者や専門家とは違って、特徴的に多く支持した内容は①「よいおもちゃがある」②「食事ができる」③「外遊びもできる」の3点だった。子どもの心身の発達において、外遊び環境は重要である。こうした外遊びの環境の現状はどうなっているのだろうか。

1 調査の目的

このアンケートは、主に北九州市内で（5才児以下の）乳幼児の子どもを育てている親を対象に、外遊びについての現状を知り、その意見の中から、公園も含めた外遊びの環境が乳幼児親子にとってよりよいものになることをめざして実施した。（アンケート原版は文末参照）

2 調査概要

実施時期：2008年9月20日～10月末の平日

配布場所：1）市民センターや、北九州市立大学の子育て親子のためのフリースペース「ハロハロ」などの地域のひろば、育児サークル

※フリースペース 開催時間が決まっている「育児サークル」に対し、開設時間が決まっていて、その時間内なら、いつでも、参加できる乳幼児親子のためのスペースを指す。企画があるサークルに比べ、ノンプログラムであることが多い。

2）地域子育て支援センター3箇所

3）子育てふれあい交流プラザ

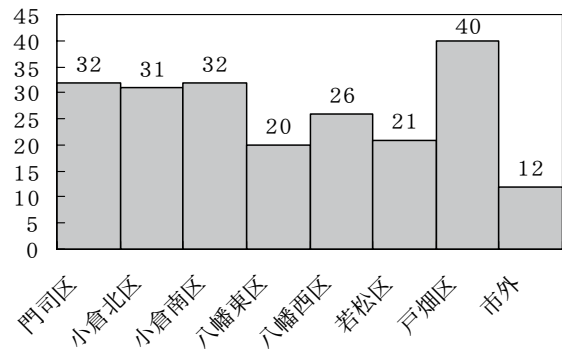
回収方法：当NPOが出向き、あるいは、その調査場所の責任者である保健師さん、保育士さんのご協力のもと、回答者に手渡しし、その場で回収しました。

回収数：219通

3. 調査結果

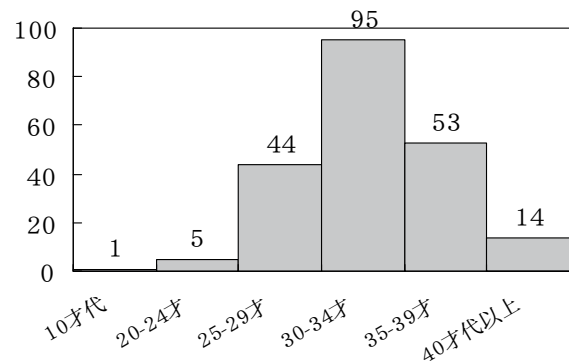
Q 1 - 1 居住区 (回答者 214人)

Q 1 医住区 (人)



Q 1 - 2 年齢 (回答者 212人)

Q 1 - 2 回答者年齢 (才)



Q 1 - 3 性別 (回答者数 212人)

女性 207人 (97.6%)

男性 5人 (2.4%)

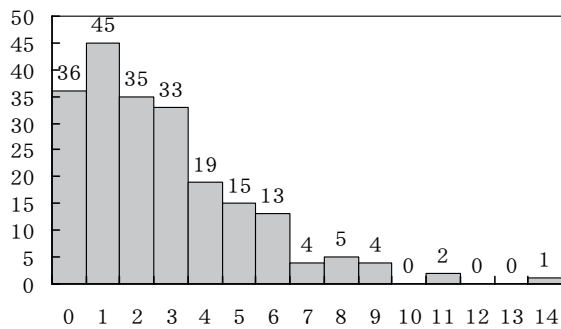
Q 1 - 3 子どもの年齢

●第1子

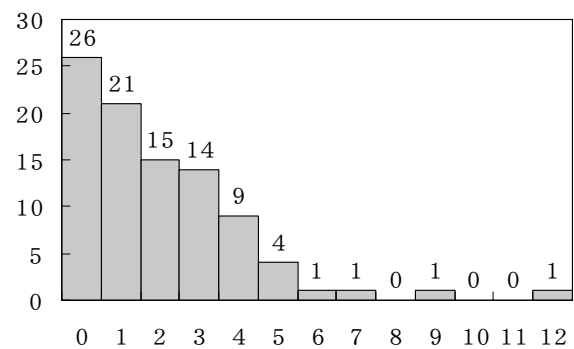
0～3才までが 70.3%

●第2子 0～3才までが 81.7%

Q 1 - 3 子供の年齢 第1子 (人)
(全 212名)

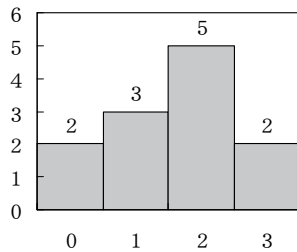


Q 1 - 3 子供の年齢 第2子 (人)
(全 93名)



●第3子

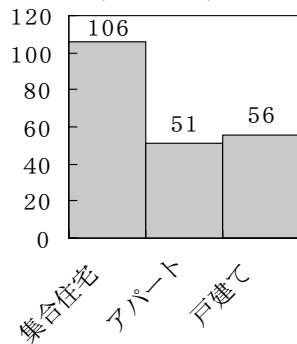
Q1-3 子供の年齢 第3子(人)
(全12名)



Q1-5 住宅形態

「マンションなど集合住宅」居住者が49.8%。

Q1-5 住宅形態(戸)
(全 213)



Q1-6 ママ友がしやすい場所

冒頭でふれたように、地域でひろば等に行くのは、「友だちができる」ことを強く期待している。身近な「ママ友」という表現で、「ママ友がしやすい」と思う場所を一つだけ選んでもらった。

「地域の市民センター、民間でしている、子育てひろばやサークル」という選択肢が195名中、132名、67.7%だった。第2位は「保育所や幼稚園でやっているひろば、フリースペース」39名、20.0%だった。

また、調査回収場所と、実際に「ママ友がしやすい」と感じている場所についてクロス集計した。

Q1-6 ママ友がしやすい場所
(人)
単一回答(全 195名)

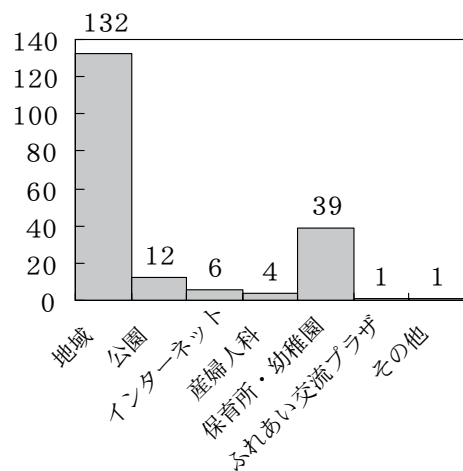


表 1：アンケート回収場所×「ママ友がしやすい場所」

(※ 回収 218名、 Q 1－6 回答者数 195名)

(人)	ママ友がしやすい場所 (単一回答)	地域の市民センター、民間でしている子育てひろばやサークル	保育所・幼稚園でやっているひろば、フリースペース	公園	インターネット上のコミュニティ	産婦人科	子育てふれあい交流プラザ	その他
回収場所	218	132	39	12	6	4	1	1
地域の市民センター、民間でしている子育てひろばやサークル	140	99	9	9	3	2	0	1
保育所・幼稚園でやっているひろば、フリースペース	49	22	19	1	1	1	0	0
子育てふれあい交流プラザ	29	11	11	2	2	1	1	0

地域の市民センター等の回答者は、他をひきはなして、もっともその場所が友だちがしやすい、としている。日常的、恒常的に利用する場所になっていると思われる。第2位の保育所・幼稚園での回答者は、1位が地域、2位が保育所である。子育てふれあい交流プラザも、地域等と保育所等が共に11名であることは、地域をベースとしながら、保育所やプラザの場所も予定にあわせて活用していると思われる。子育てふれあい交流プラザ自体を選んでいるのは1名にとどまる。

Q 2. 「子どもにこの遊びをさせたい・・・と思うけど、環境的に難しい」と思う遊び (複数回答)
(人)

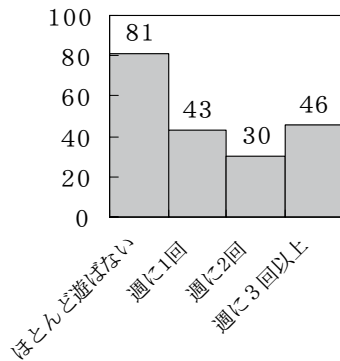
1	土・泥遊び	81	8	緑陰での昼寝	40
2	基地づくりや探検ごっこ	80	9	かけっこ	35
3	水遊び	67	10	ぶーぶーの乗り物	35
4	木登り	63	11	花や草花のふれあい	30
5	小動物とのふれあい	61	12	相撲などの身体競技	30
6	虫取りや魚釣り	45	13	(外での) ままごと遊び	26
7	大型遊具での遊び	41	14	ただ天気や風を感じる	9

「子どもにさせたいけれど、環境的に難しい」という問いは、「子どもにさせたい遊び」「環境が許さない」という2つの内容を含んでいる。

土・泥遊びや、水など、自然の素材で遊ぶもの、基地づくりなど、空間的に自由に遊べる機会をのぞんでいるが得られない、という現状が浮かび上がる。

Q 3. 公園ではよく遊びますか？

Q 3 公園で遊ぶ回数（人）
単一回答（全200名）



「ほとんど遊ばない」という回答は、全200名中、81名（40.5%）だった。「週に3回以上遊ぶ」という回答も23%いる。

それでは、どんな人たちが、どれくらいの頻度で遊んでいるのだろうか？

表 2：アンケート回収場所×「公園で遊ぶ回数」

	全体	ほとんど遊ばない	週に1回	週に2回	週に3回以上	不明
全体	218	81	43	30	46	18
地域の市民センター、民間 でしている 子育てひろば やサークル	140	60	27	19	22	12
保育所・幼稚園でやっている ひろば、フリースペース	49	16	11	5	13	4
子育てふれあい交流プラザ	29	5	5	6	11	2

地域の市民センター等の回答者は、140人中60人が「ほとんど遊ばない」（42.9%）。一方、ふれあい交流プラザ利用者は、「週に3回以上遊ぶ」が29人中、11人（37.9%）だった。

また、第1子の年齢と遊ぶ回数の関連についてみた。遊ぶ回数についてのQ3の設問は、「幼稚園や保育園に通う前の、主に、普段 自宅にいるお子さんについて」尋ねている。第2子以降の年齢も考慮すべきであるが、実際の在宅での子育ては、第2子の年齢に関わらず、第1子の生活リズムに影響されると思われるので、第1子に限って分析した。

表 3 : 「公園で遊ぶ回数」 × 第 1 子の年齢

	第 1 子 年齢	0才	1才～1才 6ヶ月前	1才6ヶ月 ～2才前	2才～2才 6ヶ月前	2才6ヶ月 ～3才前	3才～	4才 以上	不明
1週間に公園で 遊ぶ回数	218	36	31	14	20	15	32	64	6
ほとんど遊ばない	81	30	9	5	4	6	6	18	3
週に1回	43	1	8	2	6	3	9	12	2
週に2回	30	1	7	3	1	4	6	8	0
週に3回以上	46	3	5	4	9	2	7	16	0
不明	18	1	2	0	0	0	4	10	1

4才以上は、Q 1 - 3 の第 1 子の年齢でみたように、4才～14才まで幅広い。70.3%を占める主に3才以下の現状をみると、0才児は、ほとんど公園で遊んでいない。1才～3才までの年齢区分では、「ほとんど遊ばない」、「週に3回以上」までばらついている。「ほとんど遊ばない」「週に1回」をあわせると、1才～3才まで、すべての年齢区分で、50%を超えている。公園が日常の場所にはなっていないことがわかる。

Q 4. 公園での遊びに満足していますか？

「まあ、満足している」「大変満足している」の計は、58.1%である。

満足している度合いと、公園で遊ぶ回数に注目した。

Q 4 公園での遊び 満足度 (人)
(全 167人)

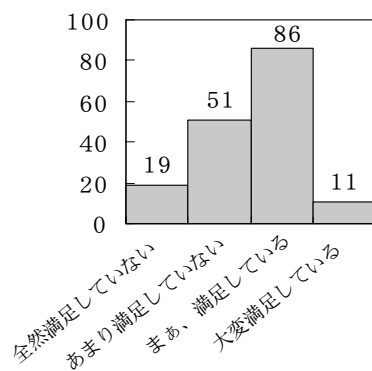


表 4 : 「満足度」 × 「公園で遊ぶ回数」

	全体	ほとんど遊ばない	週に1回	週に2回	週に3回以上	不明
全体	218	81	43	30	46	18
大変満足	11	0	2	2	7	0
まあ満足	86	10	27	19	30	0
あまり満足していない	51	21	14	8	8	0
全然、満足していない	19	18	0	0	0	1
不明	51	32	0	1	1	17

「ほとんど遊ばない」層は、公園に「あまり」または、「全然、満足していない」。

また、週に2回、3回と遊ぶ層は、「大変」ではなくても、「まあ、満足」できている。満足の度合いについて、それぞれの理由を聞いた。(文頭の数字は子どもの年齢。)

■大変満足している

- 1才0ヶ月 砂や石、草など興味深そうにふれ、そのときの目は生き生きしている。障害物が自宅に比べ少ないし、広いので、身体を自由に動かせる。
- 1才4ヶ月 まだ歩くだけで子どもを見るだけで楽しい時期なので何も遊具がなくても楽しめている。
- 2才1ヶ月 小学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんもたくさんいて、兄弟のようによく遊んでくれるため。
- 2才6ヶ月 乗り物など上手に使用しています。
- 2才3ヶ月 にこにこして遊んでいる。すべり台等でくりかえし遊ぶ。
- 2才7ヶ月 本人が楽しそうにしているため。できなかった遊びができるようになってきているため。
- 3才 同じ年代の子どもたちと遊んだり、親もおしゃべりできて楽しい時間がすごせるから。
- 6才 集合住宅に住んでいるので子どもがたくさんいて毎日外であそべています。
- 6才 他の友達も来るから。
- 8歳8ヶ月 顔がいきいきとしていてわたしを必要としていなく、友達と楽しんでいるので。

■まあ、満足している

- 10ヶ月 シーソーやパンダの乗り物があって、大人と子どもが遊べるので楽しんでいるようです。
- 11ヶ月 まだ子どもが十分に遊んで楽しめる年齢ではないので。
- 1才 公園から離れるのをいやがり遊び続ける
- 1才 いつも掃除をしている公園(公団の公園)にいつているので、砂場もきれいだし、遊具もあるので、遊びやすい。
- 1才 住んでいる敷地内にあるのでいきやすい。近所の子どもたちもいるので、お友達ができやすい。
- 1才 歩くのが楽しい時期なので、ひろば(しばふ)やボールあそびができるスペースがあればOKだから。
- 1才 まだしっかり歩けないので、ベビーカーでまわったり、花を見たりです。もうすこし大きくなったら、もっと楽しめると思います。
- 1才4ヶ月 芝生があればいいと思う。
- 1才5ヶ月 遊具が大きい子用なので、なかなか遊べないけど、芝生で遊んでいるので、子どもが楽しいようです。
- 1才10ヶ月 他のお友達と一緒にいて遊んだりして子どもが楽しんでいるので満足しています。
- 1才10ヶ月 まだ歩きはじめてばかりなので、特に不満はない。

- 1才10ヶ月 すべり台でもよく遊びます。安全で遊べるすべり台があるのでよいのですが、砂場が犬のフンやゴミ等で安心して遊ばせられないのが残念です。
- 1才11ヶ月 親はとてつつかれてしまいますが、子どもはとても楽しそうです！親がつかれないためには「砂場」や「すべり台」など、子どもに人気の遊具や日陰など工夫されていると嬉しいです。
- 1才3ヶ月 まだ上手に遊具で遊べないから
- 1才3ヶ月 すべり台や乗り物など基本的な遊具は揃っているから。
- 1才5ヶ月 子どもが喜んで遊んでいる 公園に水場がほしい
- 1才6ヶ月 まだ子どもが小さいので、今は比較的小さなすべり台やブランコなどで遊べるし、これから成長していくにしても、まだまだ楽しめると思う。ただ、地域の公園に子どもがほとんどいないことも多く、そのほうが気になる。
- 1才8ヶ月 たぶの木公園によくいきますが、砂場があればいいな、と思います。時計もあれば助かります。
- 2才 家の前の公園で遊んでいるのですが、幼稚園に通っている友だち（年上）が多いので、多少のトラブルもある（ことばより先に手がでてしまう）ので、年上の子から悪者扱いされることもある。
- 2才1ヶ月 子どもが自分で遊びたい遊具を選んで遊んでいるから。
- 2才3ヶ月 近くにあり、遊具も新しく、きれいなので満足している。ただ、公園があっても管理されていないとダメだと思う。特に夜、大人や高校生くらいの人が飲食されたり、タバコを捨てたりとゴミが多く、小さい子どもには良くない。
- 2才11ヶ月 同じくらいの年齢の子どもさんが少なくとも1人いるのでいっしょに遊ぶことができる。
- 2才2ヶ月 遊びにいつでもすぐお友だちがでていてたのしそうに遊んでいるから。
- 2才2ヶ月 午前中は大きい子がいないのでゆっくり遊べる。
- 2才4ヶ月 砂場がないので砂場遊びができない。
- 2才7ヶ月 砂遊びやすべり台が好きです。広場でかけっこするのも好きです。
- 2才8ヶ月 遊んだあとどんな風に遊んだか、よく話しをしてくれます。
- 2才9ヶ月 自宅にいることはほとんどないが、サークルや幼稚園未就園児クラス含め、室内で遊ぶことが多いので、公園遊びは思いっきり楽しめる。
- 2才9ヶ月 公園は遊具が充実しているし、友達もいるので。ボランティアの方も遊んでくれたり、面倒をみてくれるので。ただ最近犬や猫のフンが多い。
- 3才 すべり台はよくあるけど、ブランコがあるところが少ないのが残念。砂場が衛生的に心配。
- 3才 特別に遊具で遊ばなくても、走ったりのびのびできるのが楽しそう。
- 3才 砂場が不安。
- 3才 自宅となりに公園があり、思い切り遊んでいます。
- 3才1ヶ月 ブランコ、すべり台などの遊具があるし、わりときれいなので。

- 3才4ヶ月 家では遊べない大型遊具があるから。
- 3才4ヶ月 遊具がそろっていて、楽しめるから。走り回れるくらい広い。家から近い。
- 3才6ヶ月 お友達と楽しそうに遊んでいるから。帰りたがらないから。
- 3才9ヶ月 遊具は少ないが、子どもが満足しているから。砂場は汚いよと掃除のおばちゃんに言われ、遊べなくなった。友達はできにくい。あまり遊んでいる子がない。公園はあっても、みんな出てきていないと思います。
- 3才2ヶ月 人が少なく、淋しいのでもう少し、人がいればいいなと思います。
- 3才3ヶ月 行き過ぎてマンネリ化しています（遊びの内容）。公園に子どもが誰もいなくてさびしい。
- 3才7ヶ月 同じくらいの子ども達もいていっしょに遊べる。
- 4才 本人が楽しんでいるから。
- 4才 公園に行くのはどこかからの帰りに立ち寄る程度。外遊びは兄の園でお迎え後しばらく遊ぶのでわざわざ公園にでかけることは少ない。ただし、兄も未就園のときは意識的に出かけた。
- 4才 ボール遊びできるくらい広い場所があったり、遊具もすべり台などたくさんあるので。
- 4才4ヶ月 砂あそび、すべり台等子ども達で工夫してあそんでいるから。
- 4才4ヶ月 砂場に犬や猫のフンが多く、不衛生なため。防ぐ方法は難しいと思いますが・・・。
- 4才6ヶ月 公園にいくと、子どもはよく遊ぶ。鉄棒のもうすこし低いのがあればいいと思う（幼稚園とかにあるサイズの）
- 5才5ヶ月 上の子、下の子と年齢が違う子にあった遊具がある。芝があるので緑を感じることができる。
- 5才6ヶ月 たまにしかつれていけないので（家から遠い）
- 5才6ヶ月 子どもは外にでるととてもものびのびと遊んでいます。でも、お子さんがいない時が多くて寂しく感じます。
- 6才2ヶ月 家のすぐ裏が公園でちょっとだけでもよく行くのですが、海のそばなので船がみえたり、若戸大橋がみえて景色がとてもいいです。
- 8才 公園によって遊びたい遊具が違うので、あそびたい遊具があるところに車でいかなければならない。
- 9才 外に行き、お友達の顔を見るだけでも気分転換になるようです。幸い、近くに広く芝の公園があるので、助かります。

■あまり満足していない

- 0才 公園が汚い、日陰がない おむつを替える場所がない ホームレスがいる。
- 5ヶ月 まだ小さいので。
- 10ヶ月 まだ砂遊び、遊具を使つての遊びができないため。

- 10ヶ月 遊具がまだ使用できない。
- 2ヶ月 まだ小さいので、公園にいても遊べないけれど、ベビーカーで近所の公園に行ってみても、平日の昼間だと誰もいなかったり、お年寄りだけが集まっていたりして、公園であまり乳幼児の姿をみかけない。
- 9ヶ月 遊具がよごれていたりしてあそんでほしくない。まだ、一人では、遊具であそべないので、芝などを増やしてもらえたらあそべるかな。
- 9ヶ月 まだあまりいっていない。
- 1才 魅力的な遊具がない。
- 1才 安全な遊具が少ない。広さが狭い。
- 1才2ヶ月 まだ小さいので遊べる遊具が少ない。
- 1才3ヶ月 他の子をすぐたたくから。
- 1才7ヶ月 あまり遊具がない、小学生とか中学生がたまに危険なボール遊びとかをするから。
- 1才10ヶ月 家から遠い（歩いていくのに）。
- 1才10ヶ月 整備された公園が近所にはない。小さな子が遊べる遊具がない。
- 1才3ヶ月 遊具が少ない。
- 2才 小さい子どもがあまり遊んでいない。
- 2才 近くの公園が暗くさみしい。砂場もなく、きれいでない。昼間、学生さん達がたまっている。
- 2才8ヶ月 全体的に汚い。犬、猫のフンやゴミがたくさん落ちているので裸足で遊ばせられない。
- 2才9ヶ月 きれいな公園が少ない。
- 2才11ヶ月 砂場がきたない 人がいなくてこわい 遠い。
- 2才5ヶ月 同年齢の子どもが少なく、遊んでいる子どもがいないので、行ってもおもしろくなく、すぐに帰ってしまいます。また、公園の環境がよろしくない。暗い感じで早朝や夕方は私自身もあまり行きたくない感じ。公園で遊ばせている子どもが少ないのでは？！
- 2才6ヶ月 人が少ない、砂場がくさい、危険なゴミ（タバコ、ガラス、犬のフンなど）が落ちている。
- 3才 家の近くの公園には子どもが少なく遊び相手がいない
- 3才1ヶ月 砂場のない公園がある。大型アスレチックがない。
- 3才4ヶ月 夕方になると小学生たちが野球をしているので、小さい子が危ない。遊具があまりない。(特に夜宮公園)
- 3才5ヶ月 草がたくさんはえてるので虫にさされやすいので心配になります。
- 3才10ヶ月 ゴミが汚い。木影が少ない。緑が少ない。
- 3才4ヶ月 砂場が汚い気がするから。遊具が少ない。同世代のお友達が遊んでないので友達ができないから。

- 3才9ヶ月 遊具（安全、衛生的）が少ない。
- 4才 家の近くに公園がない。（砂場）囲いがないので、ちょっとしたすきに段から落ちそう。車で大きな公園に行くことはあるが、もっと毎日のように遊べる公園が近くに欲しい。
- 4才 近くの公園は、すべり台などの遊具がコンクリートなので、小さい子どもは危なくて、遊ばせにくい。
- 4才10ヶ月 まだ小さいので、日向ぼっこくらい。近くに公園が少ない。
- 4才2ヶ月 公園に来ているお友達が少ない。
- 4才4ヶ月 砂場に犬や猫のフンがあつたりするし、小さい子が遊べる遊具がない。ボール等で遊ぼうと思ってもスペースがない。
- 5才6ヶ月 近所の公園に砂場があるのですが、犬のフンなどで汚れていて子どもを遊ばせることができません。砂場で遊びたいときは、車等で勝山公園等、遠くの公園に連れていけないといけません。
- 6才 近所の公園はせまいし、遊具がほとんどないから。
- 6才4ヶ月 小さい子どもがいない 木陰がなく暑い 近所に公園がなく遠いのでなかなか行けない
- 7才 遊具が少ない
- 8才 小さい子ども用の遊具があれば良いなと思います。小さい滑り台など。
- 11才 砂場に犬のフンがある。すべり台が小さい子に滑りにくい。手でつかむ所が少ない。
雑草がはえている

■全然、満足していない

- 8ヶ月 まだ歩いたりできないため。
- 10ヶ月 遊具が少なく、同じくらいの子どものも少ない。遊具周りの環境に不安。
- 7ヶ月 人がいなくてさびしい雰囲気。
- 7ヶ月 小さい子どもの遊ぶ物がない。
- 7ヶ月 まだ小さく歩けないので 公園の遊具では遊べないので。
- 1才 雑草が多く、犬や猫のフンがあり、とても遊ばせる公園ではないため。
- 1才11ヶ月 遊び道具がすくない。危険（大きい子どもがいるから）
- 1才6ヶ月 安心して遊べる環境でない。子どもはほとんどいなく、大人がつどっていたりする。遊具がさびたりして不安。砂場が犬のフンがあり、衛生的でない。ニュースなど事件もいろいろあるから心配。
- 1才9ヶ月 遊具が少ない 昔の遊具なのか、すべり台が高すぎるし、階段のすき間が大きい。小さな子には危ない。
- 2才4ヶ月 暗い、汚い、遊具が古い、ヘンな人がウロウロしている。マイナスイメージが多いのでいけない。

- 2才7ヶ月 近くに公園がない。
- 3才1ヶ月 遊具が少ない、汚い。
- 3才8ヶ月 近所がない。車でいっても駐車場がない。
- 4才11ヶ月 小さい子が遊べる遊具がない。
- 5才 お友達がない。
- 5才 砂場が汚れている。すぐ道路で危ない。
- 5才 遊具が少ない。トイレがない。
- 5才 公園の砂場等が汚れている（犬、猫のフンがある）
- 6才6ヶ月 子ども、人がいなくて少し怖い感じがする。一番近くの公園には砂場がない。

以上、記述からみえる、親が求めている公園とは以下のような内容であることがうかがえる。

- ・犬や猫のフンなどない、キレイな公園
- ・安全な遊び場 不審者がいない
- ・子どもの遊ぶ相手がいること
- ・親の話せる相手がいること
- ・近場であること、歩いていける距離
- ・遊具がある

Q 5. おすすめの公園があったら教えてください。正式名称でなくて、通称でも結構です。

筑豊緑地 競馬場、農事センター、山田緑地、けい馬場 香月じどう公園、ふれあいの森公園（宗像）、今古賀公園 香月中央公園、桃園のわんぱく広場 大池公園、香月公園、海の中道、永犬丸中央公園、瀬板の森公園、白岩池公園 筑豊緑地、児童文化科学館の横、あべ山公園 高坊西公園、農事センター、筑豊緑地、みどりんばあーく ながづつ公園 グリーンパーク、高塔山高見公園 茶屋町公園 別所公園、競馬場の中の公園 大池公園、瀬板の森公園、平尾台、太陽の丘公園、ひびき こんぴら公園、勝山公園、北方さくら公園 門司区新九郎公園 敬智高校のウラの公園 大川公園、萩ヶ丘公園
下関の乃木浜総合公園 こうがさき公園、大池公園 本城公園 足立公園、平和公園、ぞうさん公園

東京にいったとき、乳児でも遊べる遊具をよくみた。ぶらんこもカゴ状でおすわりできれば乗れた。

中央公園 児童広場も森もある シーメイト（粕屋）、油山牧場 モール近くの公園 天頼寺公園 戦場ヶ原公園

天地山公園 重住公園（コロコロコースターがある）、交通公園、文化記念公園 山田緑地

中央公園(池のない方)砂場もきれいで、安心して砂遊びが出来るから。下の広場では、ボール遊びや親子でキャッチボールもできるくらい、広いから。近くに駐車場もあって車での移動も可能です。

牧山公園 初音公園 小沢見公園 上葛原（HITの所）、サンリブシティ近く
天頼川にある公園 小戸公園 徳力団地公園(いろいろあるので、めぐると楽しい)

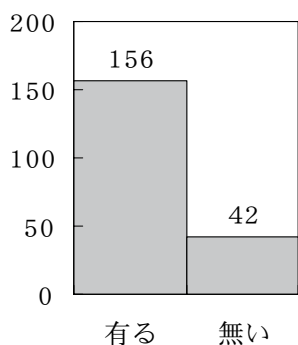
沢見公園 本村公園 四季彩の丘公園→ブランコがあるから。(よしだ)五丁目公園 素朴なところがよい。

ハギハマ公園 太陽の丘公園

実に多様な公園名があがった。

Q 6. 公園以外の外遊びの場所がありますか？

Q6 公園以外の外遊びの場所の有無(人)(全198人) 198人中、156人(78.8%)が公園以外の外遊びの場所があると答えている。その内容をQ7で尋ねた。



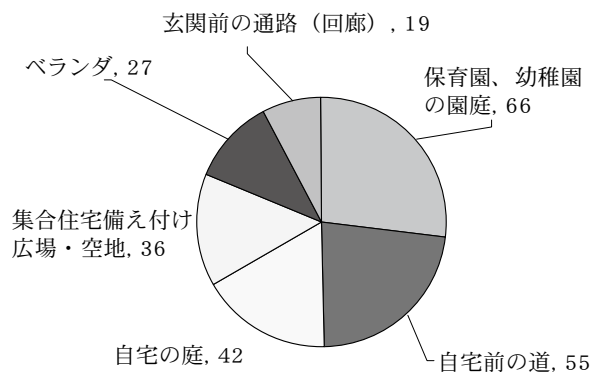
Q 7. 公園以外の外遊びの場所

(複数回答)

1	保育園、幼稚園の園庭	66
2	自宅前の道	55
3	自宅の庭	42
4	集合住宅備え付け広場・空地	36
5	ベランダ	27
6	玄関前の通路(回廊)	19

(人)

Q7 公園以外の外遊びの場所



保育園、幼稚園の園庭が公園以外で一番支持されている。前述の、にみられるように、「満足できない」理由に「砂場がきたない」「犬、猫のフン」「人が少ない」があるが、保育園、幼稚園の園庭は、そうした意味で、安心できる外遊びの場であるといえることができる。

また、住宅形態と、公園以外の外遊びの場所の有無について聞いてみた。

表 5

		家の形態				
		全体	アパート	マンション	戸建て	不明
公園以外の 外遊びの場 の有無	全体	218	51	106	56	5
	有る	156	41	67	44	4
	無い	42	5	27	10	0
	不明	20	5	12	2	1

アパート 80.39 %
 マンション 63.21 %
 戸建て 78.57 % が有ると答えている。

4. 調査を終えて～考察と課題

1) 最近の親が公園に求めるものと地域の子育て支援

前述したように、親は、公園に

- ・犬や猫のフンなどない、キレイな公園
- ・安全な遊び場 不審者がいない
- ・子どもの遊ぶ相手がいること
- ・親の話せる相手がいること
- ・歩いていける近場にあること
- ・遊具がある

等を求めている。

日曜日には、勝山公園が多くの子連れの子どもの姿でにぎわうように、安心した環境で、外遊びを楽しんだり、たくさん子どもたちとふれあいたい、というニーズは高い。記述にもみられるように、それが日常的にも、近くにあってほしい、という希望は多い。

筆者の子育て期も（80年代後半～90年代半ば）公園の砂場は、実はキレイではなかった。子連れの親は、自分たちで、ちょっと掃除したり、あまり、潔癖に清潔さを求めずに遊んでいた面もある。1989年の1.57ショック以来、少子化もすすみ、人がいない、子どもの姿がみえない、という現状はあったが、小さい公園では、それでも、そもそも地域に行く場所がなかったため、親子が友だちを求めて公園に集まっていたのである（公園デビューという言葉もあった）。

また、「遊具がない」ことに関しては、人がいて、土、砂があり、できれば水があれば、子どもはくりかえし、いろいろな遊びをしていた。遊具がなくても、それなりに（今でも）遊んでいる。しかし、今は、「子どもにさせたいけれど、環境的に難しい」遊びに、土・泥遊びや水遊びがあがっているように、遊具以外にも、そうした素材遊びが難しくなっていることがわかる。

つまり、地域に室内型の子育て支援が増えたことによって、そこに行けば、「子どもの遊び相手がいる」「大人の話せる相手がいる」ことは、満たされはしたが（2001年・2004年フリースペース調査）、しかし、結果的には、そのことが外遊びから親子を遠ざけてしまったのではないだろうか。

*懸念

- ・小さい子どもは遊具でしか遊べないと思っている

- ・赤ちゃんは外ではあまり遊べないと思っている
- ・子ども親も友だちを求めているが出会えない。人がいないので室内型に行く？

そんな中、保育所でのひろばである、「地域子育て支援センター」や、保育園、幼稚園の園庭開放には、安心して外遊びもできる環境がある。公園以外での外遊びの場として、親の支持を集めている。

2) 外遊びの「空間」と「環境」のちがいを

外遊びの環境とは、公園という場所があればそれでいいものではない。

その外遊びの場所が、小さな子どもにとっては、空間的に近場にあることや、突然の飛び出しをしても、道路に直面していない、など物理的な条件に加えて、人がいること、安心できること、また、親が大人同士で話せるためには、大人が集まりやすい中心的な場所（それは、例えば大きな木の木陰だったり、誰かが用意したシートだったり）がある、などのいくつかの工夫が必要である。逆に言えば、いくつかのしかけがあれば、公園は、もっと子連れの親子が集まりやすい環境になる。そのような工夫は、先行する全国的な遊び場づくりの中で、今、発信がはじまっている。

3) 自然の中で育まれる機会の少なさ

人は草木や風、光の中にいるとき、知らず知らず自然の中で癒されている。そうした、“センスオブワンダー”の感覚は、おそらく言葉を持たない子どもの頃から、私たちの原風景に五感すべてを通してはいつていく。室内で過ごすことが大半を占めていくと、そうした機会が遠のくことは大いに予想される。

また、昨今の脳科学では、子どもは、0－5才の間に驚異的な脳の成長が果たされることがわかっている。自然の風や、水や土や砂や、様々な手先の遊び、身体を使った遊びで育まれる、脳の発達の機会が貧しくなっている可能性が考えられる。もちろん、子どもの体力の低下と、外遊びの少なさとの関連も様々な調査で言及されている。

4) 親が子どもが思い切り遊ぶ姿に出あえていない？

子どもの体力の低下が言われているのに、乳幼児期は室内型の遊び場だけが増え、そもそも思い切り遊べる環境が少なくなっている。室内の遊びでは、どうしても禁止事項が増え、親育ち講座等で親の「どう遊ばせていいかわからない」という声にも出会う。

いろいろな年齢層で、外遊びの機会は、「ほとんど遊ばない」～「週に3回」まで、ばらついている。3才になっても、まだ「(公園で)ほとんど遊んでいない」層がいる。親によっては、子どもの思い切り遊ぶ姿をみていないまま、保育園・幼稚園等へ行かせているかもしれない。

子どものうれしそうに遊ぶ姿をみて、親は喜びを感じ、子どもを再発見し、子育てが楽しいと思える。遊び環境が貧しいことは、子育てのきつきにつながらないのではないだろうか？

親自身がもっと、子どもがいきいきと遊ぶ姿にふれることが必要である。

保育園での待機児童の解消も確かに大切である。親子が離れ、親の働く機会を保障する支援

の一方で、親が（在宅の子育ての中で、出産後、再就職前や育休時に）子どもと接する時間の中で、親子でしっかり遊ぶ時間を共有すること、子どもの姿、内在する生きる力にふれる場面に多く出会うことが、重要であると考え。

そのための環境を、わたしたち大人が作りだしていかなくてはならない。

今後の方向性として 当NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBeeは、子育てしやすい地域づくりのための以下の2点をめざしている。

○北九州市立大学で、2008年からはじまった、ミニプレーパーク活動を地域へひろげていくこと

○乳幼児期の外遊びのノウハウを整理、発信し、親自身が外遊び環境をつくりだす支援をすること。

今回の調査を通して、子育て環境は、ゆっくり、静かに変わっていつている、と感じた。子育て支援の取り組みは一面的な分析ではなく、多面的な影響を考えながら、包括的にすすめるなければならないのだろう。

参考文献：

北九州市立大学都市政策研究所 地域づくりに関する調査研究報告書『「子育てひろば」に求めるもの～市民1800人の声から』2008年3月

乳幼児子育てネットワーク・ひまわり『あったらいいな、こんな場所～子育てほっとステーション・ハロハロのすべて』2001年3月『行ってみたいな こんな場所～北九州市内外フリースペース報告書』2004年3月

野外遊びによる子育てを推進する調査委員会 『乳幼児の野外遊び力を育む 冒険遊び場と子育て支援』2004年『ねえ、みんな外で遊ぼうよ 一応援します！子どもの遊び場づくりー』フォーラム・アソシエ2006年

Q 2. 「子どもにこの遊びをさせたい・・・と思うけど、環境的に難しい」と思う遊びを教えてください。(何個でもOKです)

- かけっこ (外での) ままごと遊び ぶーぶーの乗り物
花や草花のふれあい 緑陰での昼寝 土・泥遊び 木登り
小動物とのふれあい 水遊び 基地づくりや探検ごっこ
大型遊具での遊び 虫取りや魚釣り 相撲などの身体競技
ただ天気や風を感じる

★ ここからは、幼稚園や保育園に通う前の、主に、普段 自宅にいるお子さんについてお答えください。

Q 3. 公園ではよく遊びますか？

- ほとんど遊ばない 週に1回 週に2回 週に3回以上

Q 4. 公園での遊びに満足していますか？

- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|--------------|
| 全然、満足して
いない | あまり満足
していない | まあ、満足
している | 大変満足
している |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

その理由を教えてください。

Q 5. おすすめの公園があったら教えてください。正式名称でなくて、通称でも結構です。

Q 6. 公園以外に外遊びの場所がありますか？

- ある ない

Q 7. 公園以外の遊び場所を教えてください。(何個でもOKです)

- 保育園、幼稚園の園庭 自宅前の道
集合住宅備え付け広場・空地
ベランダ 自宅の庭 玄関前の通路(回廊)

ご協力ありがとうございました。